

千三つ せんみ

「千三つ」とは、古くは「千のうち三つしか本当のことがない」という意味で使われていた慣用語です。

確率の低さを表すことから、現代ではビジネスにおいて「1000件のうち、わずかに3件の結果しか出ない」という意味でよく使われます。特に不動産やマーケティングの分野で、聞いたことのある人もいます。

結果を出すことの難しさを表す言葉ですが、「1000件のうち、3件はうまくいくのだから、数をこなすことが大切」だとも受け取れます。

「たくさんアイデアを出したのに一つも採用されない」「何件営業に回っても結果が出ない」という人は、もしかするとまだ数が足りないのかもしれないかもしれません。何度も繰り返すことで、コツがつかめてくることもあります。

また、数をこなすためには周囲の協力も大事です。部下の新しいアイデアを否定したり、失敗を責めたりしては、「千三つ」の前に心が折れてしまうでしょう。

リーダーは長い目で部下を見守り、チャレンジを続けやすい環境かんきょうをつくりましょう。

今日の言葉

何度もチャレンジできる環境づくりを

今日の気づき

コメント